

第17回通常総会次第

1. 開会の言葉(司会)西原氏
2. 挨拶 (理事長)稲岡理事長
3. 議長選出 (司会)西原氏
4. 議事録署名人及び書記選出(ここから議長)
5. 開会宣言・総会成立報告
6. 審議事項 (議案の決議)
 - 第一号議案 令和5年度事業報告および決算報告について
 - 事業報告(稲岡理事長)
 - 決算報告(中井理事)
 - 監査報告(高橋悦夫監事)
 - 第二号議案 令和6年度事業計画並びに活動予算について
 - 事業計画(稲岡理事長)
 - 活動予算(中井理事)
7. 役員(理事長・理事・監事)改選
新理事、退任理事の承諾
8. 閉会宣言
9. 連絡報告事項
10. 閉会の言葉(司会)

— 総会終了後、新理事会終了まで待機 —

◎新理事会の結果報告後、親睦会に

新理事長(代表理事)・副理事長就任報告会

令和5年度事業報告書 令和5年6月1日から令和6年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

1 事業の成果

放置竹林整備作業、伐採竹の有効活用、タケノコの伝統栽培の継承を通じ、長岡京市の竹林美化活動とその啓発活動に寄与することができた。

2 事業の実施に関する事項～特定非営利活動に係る事業

① 事業名 放置竹林整備事業

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 こらさ竹林及び寂照院竹林	延べ470名	約150名	約357千円
事業内容	【目的】 放置竹林を整備し、水資源の涵養、竹林の環境美化活動に貢献する。			
	【内容】 現在、放置竹林は12千㎡を管理。放置竹林の枯れ竹処理と定期的の間伐作業を実施。また、タケノコの切り倒しを実施。竹の繁殖を抑制している。 1. 長法寺B竹林～バス通りに面する。面積3千㎡ 維持管理を始めてから15年となり竹林として景観を維持ができています。 定期的に枯れ竹の間伐で維持管理実施。今期はNHKの撮影協力あってタケノコは一部処理に留め、竹の世代交代を配慮した。 2. 長法寺C竹林～面積1千㎡ 長法寺C竹林は定期的の間伐とタケノコの処理を実施している。今年はメンマ用の幼竹提供と人出不足でタケノコ処理が遅れて幼竹になってから伐採することになった。長法稲荷神社の社に倒れそうな竹を優先して伐採。 3. こらさ竹林～面積7千㎡ 景観を良くするため、定期的に枯れ竹の間伐、搬出と一部の伐採竹の焼却作業を実施。さらに竹をチップ化してタケノコ畑の肥料に活用した。 古竹・枯れ竹の間伐とタケノコと幼竹段階での伐採を継続して、景観保全に寄与している。 今年も、茨木高校生の体育祭の竹材利用と伐採体験作業を受入れ。 竹材(径13cm×4m 180本)は竹の学校で間伐して製作し、当日の体験伐採で製作した約30本と合わせて竹材搬出をした。 今後も間伐とタケノコ処理を継続してゆくが、竹の新陳代謝も配慮していく。 今年立命館高校生も竹材利用と伐採体験作業が2日間に拡大。 竹材(径10cm程度×2m 50本)を提供。 4. 寂照院竹林～面積1.0千㎡ 竹林内の間伐作業を実施。 5. その他 本年も光風美竹通りの南側の竹林(バス通り竹林)約3.0千㎡を景観保全のため枯れ竹の処理と雑草処理実施。管理たけのこ畑周辺の景観美化に貢献。 こらさ竹林西のバス通りに面した三菱電機労組管理地区の伐採応援継続。			
【活動の成果と課題】 管理竹林整備面積を維持し、水資源の涵養に寄与し、周辺環境美化に貢献。 タケノコの切り倒しについて、一部竹の世代交代のためのタケノコの育成を継続する。 活動を継続するため、世代交代に取り組むと共に、会員を増やし若返りを図っていく。				

② 事業名 伐採竹の有効活用

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 こらさ竹林及び寂照院竹林	延べ 470 名	企業・学校 約 210 名	約 1 千円
事業内容	<p>【目的】 放置竹林の整備に伴う、大量の伐採竹の処理を焼却以外の有効利用の模索。</p> <p>【内容】 今期は竹炭製作と茨木高校体育祭用に加え立命館高校の竹提供量が増加した。竹チップ、竹穂の活用も活用用途を継続検討する。</p> <p>① 七夕、門松用竹提供 太鼓山自治会、東山自治会(七夕・門松用) 寺田中学校、せきゅりてい・ブランケット(保育園)</p> <p>② 高校生の体験伐採受け入れ、竹材提供 茨木高校 体育祭用 竹 4m×203 本、真竹 4m×14 本 立命館高校 文化祭用 竹 2m×65 本、内 10 本は菊割り</p> <p>③ 竹炭製作用の竹提供 紋珠様用 ドンボ(親竹伐採) 2トンロング 1台分 向日市農園用 竹 1m×30 本</p> <p>④ 地域の農業用(土壌改良用)に竹炭を提供 石田ファーム 軽トラ 2 台分 インターデコ 土のう袋 20 袋分</p> <p>⑤ 地域の農業用(土壌改良用)に竹チップ利用 竹の学校竹林(検討用) 約 1～2 m³</p> <p>⑥ イベント用に竹提供 ものづくり市、サポセンフェスタ等 竹ポット、竹プランター 50 個製作 長岡京ジャズライブステージ装飾用 竹灯ろう 40 本製作・提供 長 4 小の工作用竹提供(おとなりさんバンブーランド経由) 真竹 6 本提供 「書と花のコラボ展」用の竹提供 ドンボ 6 本提供</p> <p>⑦ 放置竹林のメンマ用幼竹提供 竹乃舎 幼竹 1.5m 約 300 本</p> <p>⑧ イノシシ対策用竹提供 のこのこファーム ドンボ 30 本</p> <p>【活動の成果と課題】 今期は新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、イベントが徐々に復活したものの竹使用減少。竹チップはたけのこ畑の作業効率アップと有機肥料に使用した。 粉碎機の燃料代が課題だが、今後も竹有効利用の拡大を進める。 メンマ用に幼竹を提供するため、人出不足もあるが放置竹林のタケノコ倒しが遅れ、幼竹の成長が進み竹に近くなって伐採の負担が増えた。</p>			

③ 事業名 たけのこ伝統栽培の保存継承

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 および明神前竹林	約1,040人	約80名 (エコグループ)	約483千円
事業 内容	<p>【目的】 京都式軟化栽培法の継承により、美しい竹林を維持。 エコツアー受け入れによって、竹林を開放し、美化活動への啓発に寄与する。 会員・エコツアー体験者に安価でタケノコを頒布することで活動を維持。</p> <p>【内容】 対象はタケノコ畑の管理竹林の長法寺 A 竹林～面積 4 千㎡と明神前竹林～2 千㎡一連の作業（新竹の先止め・下草刈・施肥・ワラ敷き・土入れ）を実施。 タケノコ栽培が環境保全・水資源涵養につながることをエコツアー体験者に「竹林講座」の講義で説明。タケノコ栽培が竹林整備の最終の姿と考える。</p> <p>（主な共同作業）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 5月 先止め、お礼肥～タケノコ掘りが終わったあと ② 7月 お礼肥、下草刈、サバエ刈り ③ 9月 親竹の更新 ④ 10月 稲わら収集～長岡京市内 ⑤ 11月 施肥・ワラ敷き ⑥ 12月 土入れ～バックフォー、運搬車投入（2日間） ⑦ 4月 タケノコ掘り <p>【活動の成果と課題】 表年にかかわらず、前年より減少して収穫量 2,000 kg となった。 A 竹林はほぼ前年量と同じ、明神前竹林は減量△300kg となり、収穫量差が再び大きくなった。また、大釜茹でタケノコを良品扱いした見かけ上良品率が昨年度と同等の 62% となった 収穫量は減少したものの 2,000 kg であり、会員への頒布に十分な量となった。また 3～4 月のエコツアー体験客は 10% 減となった。 会員には今年も B 級品と茹でタケノコを大幅に安価でタケノコを頒布、エコツアー体験者には昨年同様 2 割程度の負担増頂いた。</p> <p>年々高齢化していく中での作業（土入れの運搬作業）の負担の対策として、土入れ作業にバックフォーを投入しているが、明神前竹林に 1 日投入、A 竹林は 0.5 日増やし 2 日投入にして作業負担を減らした。</p> <p>●明神前竹林は収穫量が減少したものの、頒布の維持に貢献した。作業日の前半を明神前竹林で、後半を A 竹林と 2 部制にして収穫、A 竹林に集荷するやり方が定着、明神前竹林分の集荷遅れが無くなり、出荷業務が改善されたものの、明神前竹林のタケノコの掘り残しが発生した。 大量の掘り遅れた黒いタケノコを大釜茹でタケノコにすることも定着、会員・ご近所に安価に引き取って貰えるようになった。</p> <p>●来期も収穫量改善のため、以下の作業を守ることにする。 市役所のマニュアル通り、施肥はばら撒きを止めて、元の穴に埋める方法に戻す。肥料の在庫管理と計画購入して肥料投入量を明確に、データーを蓄積する。 タケノコ掘り時の地下茎のカットは禁止。特に浅い（若い）地下茎に注意する。</p>			

④ 事業名 地域活動／竹工芸・竹林のオープン

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
農閑期の毎土曜日 (6～9、1～3月) 9時～12時	長岡京市 長法寺竹林の作業場	約190人	展示会に来場の 一般の市民等 約500人	約29千円
事業 内容	<p>【目的】 各種団体、個人の見学、竹林作業の体験の受け入れ等で地域活動に貢献して、啓発活動に寄与するとともに、竹林の伐採竹の孟宗竹を使った竹行灯等の製作、および作品を市内イベントでの展示と合わせて、会員勧誘活動につなげていく。</p> <p>【内容】 主に竹林の農閑期を利用して、定期活動日に会員有志で活動。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・07/12(水) 茨木高校生竹林整備体験受入れ(約80名)～こらさ竹林 ・07/15(土) 09/23(土) R6/05/15(水) 地元の大井手上げに同期～明神前竹林周辺 ・07/26(水) 09/16(土) 立命館高校竹林整備体験受入れ(21名)～こらさ竹林 ・09/06(水) R6/04/16(火) 西山森林整備推進協議会ワーキングに出席 ・09/15(金) 長4小で竹の学習の講師 ・10/22(土) サポセンフェスタに参加 広報活動に貢献～JR長岡京駅前 「竹林からのおくりもの」を展示・頒布、ステージ部門の音楽演奏に出演 ・10/29(土) 里山里海つながるフェス(イオン桂川)に活動資料を展示 ・11/05(日) ものづくり市出店(女子会)～バンビオ公園 竹林整備啓蒙を兼ねて「竹林からのおくりもの」を展示・頒布 ・11/11(土) 長岡京ジャズライブ応援～バンビオ中央ホール ステージ装飾用竹灯ろう40本製作、竹あんどんと合わせて展示 「竹林からのおくりもの」を展示・頒布 ・11/26(日) 15th 環境フェア 今年は室外イベントに参加～中央公民館駐車場 「竹林からのおくりもの」竹の苗ポット・竹炭製品を展示・頒布 デジタル化行事にも対応、市役所のHPに竹の学校紹介文が掲載 ・R5/02/01(木) 伐採竹の搬送デモに協力・参加～こらさ竹林 ・02/12(月) 長法稲荷神社初午祭礼参列～長法稲荷神社 ・03/05(木)～ NHK エンタープライズ来訪 カメラ設置協力等、管理竹林とその周辺で撮影協力中 ・03/15【里山里海活動団体の冊子】竹の学校が掲載決定 京都大学フィールド科学教育研究センターのアンケートに協力 ・04/07(日) ものづくり市・タケノコ試販(女子会)～バンビオ公園 ・04/16(火) 神足小学校へ給食用にタケノコ提供 <p>【活動の成果と課題】 NHK エンタープライズから「ダーウィンが来た」撮影協力の打診あり。今回でNHK BSプレミアム 番組撮影・放映が「美の壺」「ニッポンの里山」「ワイルドライフ」に続き4件目！となり、放映は本年末の予定でインターネットを通じて広報活動が実ってきている。今年はNHKの自然番組ワイルドライフ「自然写真家 今森光彦」の再編集版の回を7月にBSとBSプレミアム4Kで再放送されます。竹の学校の管理竹林の自然や作業風景が出てきます。</p> <p>少しずつ会員が若返ってきているが男性の高齢化対応のため、これからも広報の重点を会員募集におくようにしていく。今期の新入会員はものづくり市のお客様でした。</p> <p>今期は新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、各種地域活動への参加が復活、学校や団体への対応が元に戻ってきており、4月のエコツアーの人数も新型コロナウイルス感染症拡大前に戻った。</p>			

2023年度(令和5年) 活動計算書

2023年6月1日から2024年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

科 目	金 額		(単位:円)
I 経常収益			
1. 会費			
正会員受取会費	31,000		
入会金	1,000	32,000	
2. 寄付金			
受取寄付金	0	0	
3. 受取助成金			
長岡京水資源対策基金	200,000	200,000	
4. 事業収益			
(1) 筍栽培事業			
会員筍頒布料	369,200		
発送料、箱代	129,500		
工口頒布料	223,000		
入山協力金	34,500	756,200	
(2) 放置竹林整備事業		0	
(3) 竹材有効活用事業		0	
(4) 地域活動			
竹材活用品提供協力金	42,620		
協賛協力金		42,620	
5. その他収益			
雑収入	18,984	18,984	
経常収益計			1,049,804
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0	0	
(2) その他経費			
賃借料	0		
委託料	280,430		
材料費	113,355		
消耗備品	40,980		
補修費	30,000		
交通費	345		
労務費	75,776		
車両費	125,600		
消耗品費	191,371		
雑費	11,700		
その他経費計	869,557		
事業費計		869,557	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
地代家賃	111,600		
宣伝広告費	13,200		
水道光熱費	2,000		
通信費	0		
福利厚生	15,500		
租税公課	0		
交通費	45,240		
印刷費	1,259		
交際費	2,000		
事務費	7,478		
雑費	55,778		
会議費	0		
その他経費計	254,055		
管理費計		254,055	
経常費用計			1,123,612
当期正味財産増減額			-73,808
前期繰越正味財産額			947,219
次期繰越正味財産額			873,411

2023年度(令和5年) 財産目録

2024年5月31日 現在

特定非営利活動法人 竹の学校

(単位:円)

科目・適用	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	169,708		
普通預金			
ゆうちょ銀行	111,753		
京都銀行	537,050		
JAバンク	54,900		
流動資産合計		873,411	
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計			873,411
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産合計			873,411

特定非営利活動促進法 第18条の規定に基づき、令和5年6月1日から令和6年5月31日までの事業年度に関わる財産の状況を監査いたしました。

監査の方法は、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、該当事業年度に関わる財産目録、貸借対照表及び活動計算書について検討いたしました。

監査の結果、財産目録、貸借対照表及び活動計算書は、当法人の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

監事 高橋 悦夫 

監事 中矢 琴枝 

令和5年度 貸借対照表

令和6年5月31日現在

特定非営利活動法人 竹の学校
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	873,411		
流動資産合計		873,411	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			873,411
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		947,219	
当期正味財産増減額		-73,808	
正味財産合計			873,411
負債及び正味財産合計			873,411

本書は当法人の貸借対照表に相違ありません

特定非営利活動法人 竹の学校

理事長 稲岡 利春



令和6年度(令和6年6月～令和7年5月)事業計画案

事業を継続し、放置竹林の整備と竹材有効活用と地域活動に取り組む。

事業内容	実施時期・目標
1) 放置竹林整備作業	
① 長法寺A竹林 4千㎡ タケノコ栽培・・・3)項参照	通年作業による
② 明神前竹林 2千㎡ タケノコ栽培・・・3)項参照	A竹林とシリーズ収穫
③ 長法寺B/C竹林 4千㎡ 間伐作業・間伐竹搬出	奇数月 第4(土)
④ 寂照院竹林 1.5千㎡ 伐採作業・竹垣整備	偶数月 第4(土)
⑤ こらさ竹林 7千㎡ 伐採作業	毎月 第2(土)
⑥ バス通り竹林、西明寺竹林(新) 2千㎡ 伐採作業・伐採竹搬出	継続作業を検討中
2) 竹材の有効利用 (4.5.11.12月以外)	
① 伐採竹の竹炭焼き作業、竹粉炭、竹チップの検討	10月・2月
② 伐採竹で竹工芸・竹細工	毎月第1・3(土)
③ 現在の伐採竹提供先の継続 メノマ用幼竹提供 茨木高校生・立命館高校生の竹取り対応 地域の七夕用・門松用竹材供給	4～5月 6～7月 7・12月
④ 伐採竹の新たな活用先(竹チップ・竹枝)の開拓	9・10月
3) 京たけのこの生産と技術継承(長法寺A竹林 4千㎡、明神前竹林 2千㎡)	
① 京都式軟化栽培法の継承	
新竹心止め 5月	下草・サバエ刈 7月
施肥 6・11月→9月のみ	間伐 9～10月
藁敷き 11月	土入れ 12月
② 土入れのバックホウ料金抑制 今期は以下の理由で、A竹林は2日作業にする。 将来を見越した安定した土採りのため、地形の改良に時間を割く。全体で料金を抑制するため作業の効率化を図る。 明神前竹林も土採り場が残り少なくなってきたり、対応を考えておく必要がある。	12月
③ 改良施肥方法の継続(効果改良・作業軽減) 施肥 従来3回→2回(明神前竹林は3回)	6・11月
④ 前半は明神前竹林、後半 A竹林で2部制でタケノコ収穫 集荷はA竹林、収穫量は各竹林で計量後出荷	3～5月
⑤ タケノコ栽培作業の後継者のためのデータ取り ワラや肥料の使用量、親竹伐採量等を記録(HP)に残す	随時
⑥ 竹チップの利用拡大等検討	
⑦ 来年(裏年)は今年(表年)の減少した収穫量レベルと予想 会員頒布以外に4月に「ものづくり市(毎月第1日曜)」に出店 この日は店子とタケノコ早朝丁寧？掘り隊で対応	4月
4) 地域活動・支援活動	
① エコツアーの受入れ たけのこ掘り体験 間伐作業の体験	4・5月 7～9月
② 放置竹林の周辺の美化活動と長法稲荷の美化	2回(春・秋)
③ 他グループとの協業・見学受け入れ こらさ竹林で竹林整備体験etc 次世代のための環境保全/保護活動/環境学習	3団体程度
④ 「竹林からのおくりもの」の展示・頒布による広報活動 竹工芸品(主に竹行灯)による展示活動を縮小	
⑤ 地域の農家の「大井手上げ」作業の草引きに同期	5・7・9月

2024年度(令和6年) 活動予算書

2024年6月1日から2025年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

科 目	金 額		(単位:円)
I 経常収益			
1. 会費			
正会員受取会費	33,000		
入会金	2,000	35,000	
2. 寄付金			
受取寄付金	0	0	
3. 受取助成金			
長岡京水資源対策基金	120,000	120,000	
4. 事業収益			
(1) 筍栽培事業			
会員筍頒布料	370,000		
発送料、箱代	130,000		
工口頒布料	230,000		
入山協力金	35,000	765,000	
(2) 放置竹林整備事業	0	0	
(3) 竹材有効活用事業		0	
(4) 地域活動			
竹材活用品提供協力金	40,000		
協賛協力金		40,000	
5. その他収益	20,000		
雑収入		0	
経常収益計			960,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0	0	
(2) その他経費			
賃借料	0		
委託料	280,000		
材料費	120,000		
消耗備品	40,000		
補修費	30,000		
交通費	1,000		
労務費	80,000		
車両費	60,000		
消耗品費	200,000		
雑費	10,000		
その他経費計	821,000		
事業費計		821,000	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
地代家賃	120,000		
宣伝広告費	13,000		
水道光熱費	2,000		
通信費	1,000		
福利厚生	16,500		
租税公課	0		
交通費	50,000		
印刷費	2,000		
交際費	2,000		
事務費	8,000		
雑費	55,000		
会議費	0		
その他経費計	269,500		
管理費計		269,500	
経常費用計			1,090,500
当期正味財産増減額			-130,500
前期繰越正味財産額			873,411
次期繰越正味財産額			742,911

令和6年度作業責任者(案)

担当作業・業務		担当者
1. 京たけのこ	生産	野本、田中よ、寺島、上林
	頒布・収穫量管理	中井、中矢、田中み
2. 会計全般		中井、中矢、田中み
3. 竹林伐採整備		世良田、高橋え、荒木、西原
4. 竹工芸		稲岡と、梶原
5. 環境整備		小椋、荒木、梶原、中村ゆ
6. 花壇の維持管理		稲岡き、高橋も
7. ミツバチの飼育		澤田石、稲岡き
8. 備品管理(物置管理)		高橋え、中井、田中み
9. 竹炭作り		高橋え、荒木、西原
10. 竹あかり・環境フェア		東、中矢、澤田石
11. 竹の学校イベント・教育		中井、澤田石、西角
12. 広報	竹林日記	稲岡と、世良田、 中井、澤田石、西角
	ホームページ管理 エコツアー受入れ	稲岡と
13. 外渉窓口		世良田、稲岡と(WEB)

担当者は業務の実行と管理をお願いします。担当以外の人も積極的な協力をお願いします。